補足
中大規模木造建築相談窓口

1　相談窓口の概要

1）背景と目的

中大規模木造建築の普及に向けた動きが高まりを見せており、各地域での普及啓蒙に向けた活動も活発化している。しかし、中大規模木造建築の普及といっても、どこから手をつけて良いか分からないというグループ（地域協議会等）も多い。また、具体的に勉強会・講習会などを実施したものの、その次に何を行えば良いか迷っているというグループもある。地域での普及に向けたグループ活動をサポートする仕組みが求められている。

また一方、具体的な建築の事案を抱えているものの、設計や施工の経験者も少ないため、どのように進めればよいかわからないという設計者も多い。このような具体的な設計におけるサポートの仕組みが求められている。

以上のような現状に鑑み、上記２つのフェーズにおける相談を受付け、当該相談内容に詳しい専門家を紹介し、解決をサポートする仕組みを設ける。そして、これらを通して、中大規模木造建築物を増やし、また、中大規模木造建築に詳しい設計者・施工者を増やすことを目的とする。

2）事業概要

上記のような現状に鑑み、以下の２つの内容について、相談を受け付ける窓口を設置する。

①地域での中大規模木造建築を普及するためのグループ活動の進め方等に関する相談
②具体的な設計事例における相談、たとえば、基本計画や設計実務、材料調達、施工業者に関することなどに関する相談

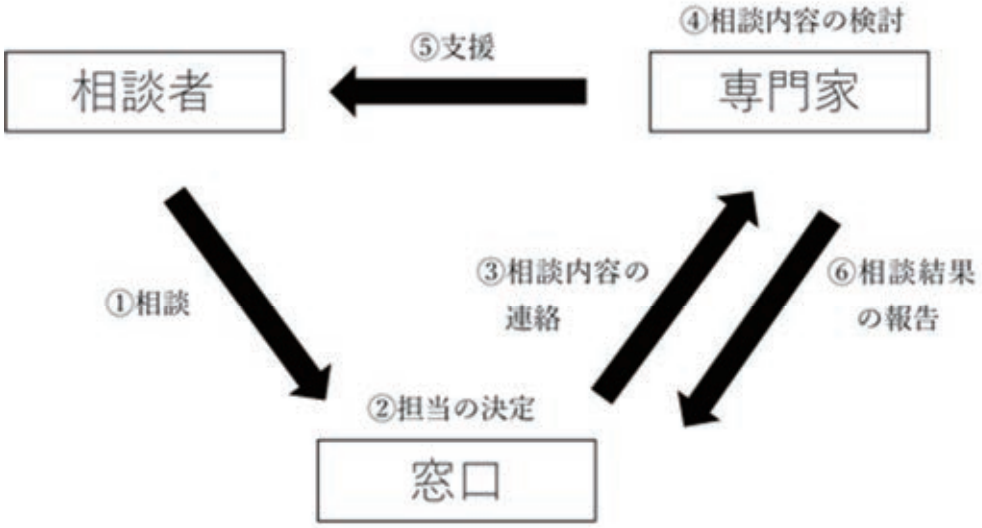
相談窓口では、当該相談内容に詳しい専門家を紹介し、解決をサポートする。

3）実施内容

2021 年 10 月よりＷＥＢサイトに「中大規模木造建築相談窓口」を設置した。

4）相談の流れ

①相談者が相談内容を相談シートに記入し相談窓口に送信する。
②相談窓口は相談内容確認等を行い、回答する担当専門家を選出して相談内容を連絡する。
③担当専門家は受け取った相談内容について検討し、相談者に回答を行う。
④担当専門家の回答方法は、電話・メール等とする。



相談の流れのイメージ図

5）専門家への報酬

担当専門家の電話・メール等による回答は無料対応するが、それを超える支援（例えば、現地視察等の日当と旅費）は相談者側の負担とする。また、専門家と相談者との間で業務契約等が必要となった場合は、両者で協議を行い、相談窓口は関与しない。

6）担当専門家

担当専門家は下表の通り。

（五十音順、敬称略）

全般対応	
荒井　一弘	(株)市浦ハウジング＆プランニング　取締役
大倉　靖彦	(株)アルセッド建築研究所　代表取締役副所長
加来　照彦	(株)現代計画研究所　代表取締役
北瀬　幹哉	環デザイン舎　代表
神戸　渡	関東学院大学　建築・環境学部建築・環境学科　准教授
信田　聡	元東京大学　大学院農学生命科学研究科　教授
鈴木　進	特定非営利活動法人　木の家だいすきの会　代表理事
長澤　悟	東洋大学　名誉教授
原田　浩司	木構造振興(株)　客員研究員
安田　哲也	ＮＰＯ法人　サウンドウッズ　代表理事

材料調達	
鈴木　進	特定非営利活動法人　木の家だいすきの会　代表理事
原田　浩司	木構造振興(株)　客員研究員
安田　哲也	ＮＰＯ法人　サウンドウッズ　代表理事

材料物性	
信田　聡	元東京大学　大学院農学生命科学研究科　教授

意匠設計	
加来　照彦	(株)現代計画研究所　代表取締役
長澤　悟	東洋大学　名誉教授

構造設計	
神戸　渡	関東学院大学　建築・環境学部建築・環境学科　准教授

防耐火	
加來　千紘	桜設計集団一級建築士事務所

耐久性	
中島　史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部　建築都市デザイン学科　教授

２　相談案件

令和３年度４件、令和４年度６件、合計 10 件の相談を受け付けた。
相談内容は以下の通り。

	受付月	相談内容	相談者	回答者
案件 01	**令和 3 年 10 月**	**全国の材工分離発注の事例資料等が欲しい**	Ｋ市	原田　浩司
案件 02	令和 3 年 11 月	小学校改築時の防耐火の別棟扱いについて	Ｙ建築事務所	加來　千紘
案件 03	令和 4 年 1 月	防火壁で自立する構造の参考図**が欲しい**	Ｏ株式会社	神戸　渡
案件 04	令和 4 年 2 月	設計の入札者を選定するための資料が**欲しい**	Ｈ県	安田　哲也
案件 05	令和 4 年 6 月	フィットネスジムを木造で建築したい	Ｗ建設	神戸　渡
案件 06	令和 4 年 8 月	コミュニティセンターの大スパンの対応方法	Ｏスタジオ	大橋　好光
案件 07	令和 4 年 9 月	地元博物館に地域産材の集成材を活用したい	Ｍ町	大橋　好光

	受付月	相談内容	相談者	回答者
案件 08	令和５年 １月	分譲マンションのエントランスにＣＬＴ使用	Ｔ建設	加來　千紘
案件 09	令和５年 ２月	木造校舎の標準的な工事費と工期について	株式会社Ｐ	未定
案件 10	令和５年 ３月	自走式立体駐車場を木構造で設計・施工したい	Ｙ株式会社	未定

３　相談窓口開設の成果

2021 年 10 月に相談窓口を開設し、当窓口の存在を周知するために各方面に広報を依頼した。その結果、2023 年３月までの間に 10 件の相談を受け付けた。

相談概要の分類は次の通りである。（複数回答可）
・木造化推進体制・ネットワークの整備　0 件
・育成・講師・技術者等の派遣　0 件
・地域産材の利用・流通の紹介　1 件
・設計における計画や実務、材料調達、施工業者　8 件
・その他　3 件

計画前の初期の段階での相談や中大規模木造の経験が少ない人からの相談が多く、木造を検討しているが知識がない、どうしたら良いか分からない、という案件が散見された。また担当専門家が連絡しても、その後の返答がないという事例も見られた。

しかしながら、どこへ相談したら良いか分からない人にとって、相談窓口は一つの拠り所であり、存在意義は大きいと考える。今後も相談窓口の周知に努め、継続した対応を行っていく必要がある。

4　参考資料

1）相談窓口サイト（事務局サイト画面）

２）相談窓口サイト（協力団体サイト画面）

■中大規模木造建築相談窓口

中大規模木造建築に関する相談窓口を開設いたします。
下記２種類の内容の相談について、専門家をご紹介させていただき、メール、電話でおこたえします。

①地域での中大規模木造建築を普及するためのグループ活動の進め方等に関する相談、
②具体的な設計事例における相談、たとえば、基本計画や設計実務、材料調達、施工業者に関することなどに関する相談、

相談料は無料です。

※上記の範囲を超える支援（現地視察等の経費）が必要になった場合は、費用をご負担していただきます。また、さらに相談者との間で具体的な設計やコンサルタントなどの業務が必要となった場合は、両者で協議の上、進めていただくことができます。この有償の業務については、当相談窓口は原則的に関知しませんので、ご了承ください。

相談シートに内容をご記入の上、メール又はFAXで事務局までお送りください。受付後、ご連絡させていただきます。

>> 相談シート

この窓口業務は、林野庁の補助を受け、（一社）木を活かす建築推進協議会が実施する業務の一環として、木の建築フォラムが協力・担当するものです。

このウィンドウを閉じる

3）相談シート

2022年度 木造建築物等整備促進・地域間連携　相談シート

記入日	年　月　日	受付番号（事務局記入）	

1．相談者について　※空欄に記入、または当てはまるものに○を付けてください。

所属団体（会社） 部署		氏名	
所属団体所在地			
メール		TEL	
属性	行政庁 ／ 団体 ／ 設計者 ／ 工務店 ／ コンサル ／ 施主 ／ その他		
相談窓口を知ったきっかけ			
希望する回答方法	メール ・ 電話 ・ FAX ・ その他（　　）		

2．相談内容

相談案件名	について
相談案件場所	（都道府県・市区町村）
相談の概要	（ ）木造化推進体制・ネットワークの整備 （ ）育成・講師・技術者等の派遣 （ ）地域産材の利用・流通の紹介 （ ）設計における計画や実務、材料調達、施工業者 （ ）その他（　　）

＜相談内容＞

3．添付資料（相談に関する資料等がある場合、資料名を記載の上、本紙とあわせてお送りください。）

■送り先・問合せ先　NPO木の建築フォラム事務局

TEL：03-5840-6405　FAX：03-5840-6406　E-mail：office@forum.or.jp